

協会けんぽ島根支部の現状について

令和4年10月24日 令和4年度第2回評議会

1. 令和5年度 戦略的保険者機能に関する 現状評価シート〔島根支部〕（抜粋版）

＜「現状評価シート」の使用目的＞

自支部の課題を抽出するため、適用情報、医療費情報及び健診情報の観点から、自支部の現状を整理、評価する際に活用いただくためのシートです。

＜「現状評価シート」で出来ること＞

- 自支部の適用情報、医療費情報及び健診情報の主要項目の過去3か年分の時系列データを表形式で見ることができます。
- 医療費情報（1人当たり医療費、受診率、疾病分類別1人当たり医療費、業態別1人当たり医療費）及び健診情報（健診結果、問診結果）について、全国平均と比較した場合の自支部の地域差指数－1（※）を、表形式及びグラフ形式で視覚的に捉えることができます。

（※）地域差指数－1とは、医療費等の地域差を表す指標として、1人当たり医療費等について、年齢調整し、全国平均を0として指数化したものであり、0より大きい数値であれば、全国平均より高い水準にあり、0より小さい数値であれば、全国平均より低い水準にあることを示しています。



グラフの0（全国平均）より「左は良い」「右は悪い」状態を意味します

1. 適用情報

年度	事業所数	加入者数	被保険者数	被扶養者数	平均標準報酬月額
2019	12,404	249,491	154,641	94,850	253,628
2020	12,498	245,706	153,441	92,266	253,397
2021	12,556	241,435	151,988	89,447	255,715

2. 医療費情報

2-1. 医療費3要素(診療種別)

<総計(入院・入院外・歯科)>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後		
2019	195,826.7	187,166.8	8,407.0	8,173.7	1.55	15,045.4
2020	192,092.1	183,683.7	7,849.7	7,626.5	1.53	15,987.0
2021	205,709.1	196,171.8	8,232.7	7,983.8	1.51	16,502.0

<入院>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後		
2019	62,220.4	58,677.0	114.9	110.2	10.26	52,818.3
2020	60,273.9	56,994.4	105.7	101.5	10.39	54,923.5
2021	65,052.7	61,096.0	113.1	108.5	9.99	57,587.1

<入院外>

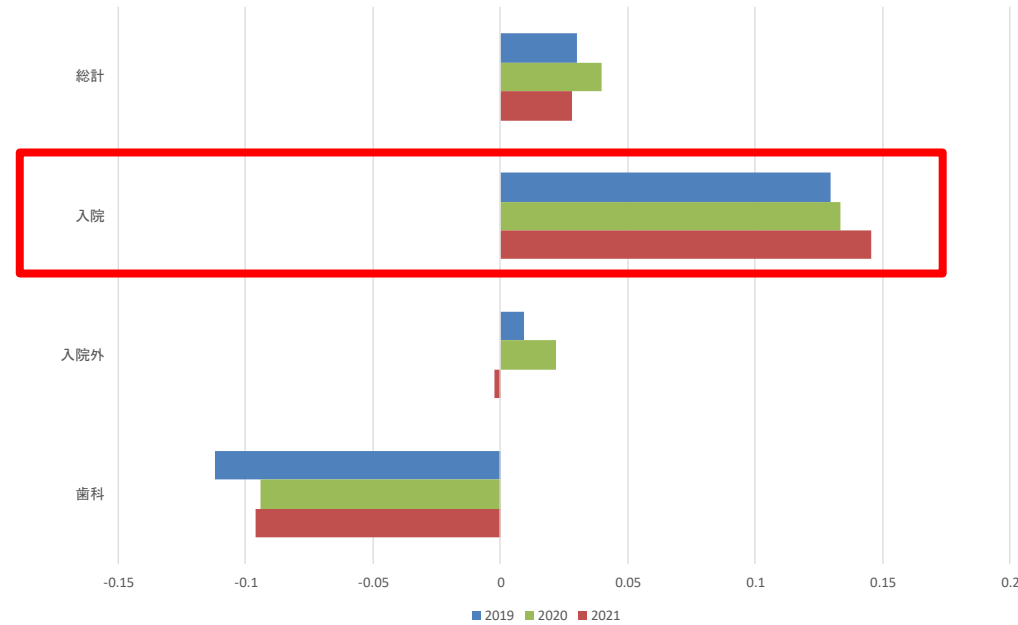
年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後		
2019	115,163.8	110,374.8	6,736.0	6,535.7	1.39	12,331.3
2020	112,604.3	107,784.6	6,216.0	6,022.3	1.37	13,270.8
2021	120,579.6	115,340.0	6,520.9	6,306.8	1.36	13,592.8

<歯科>

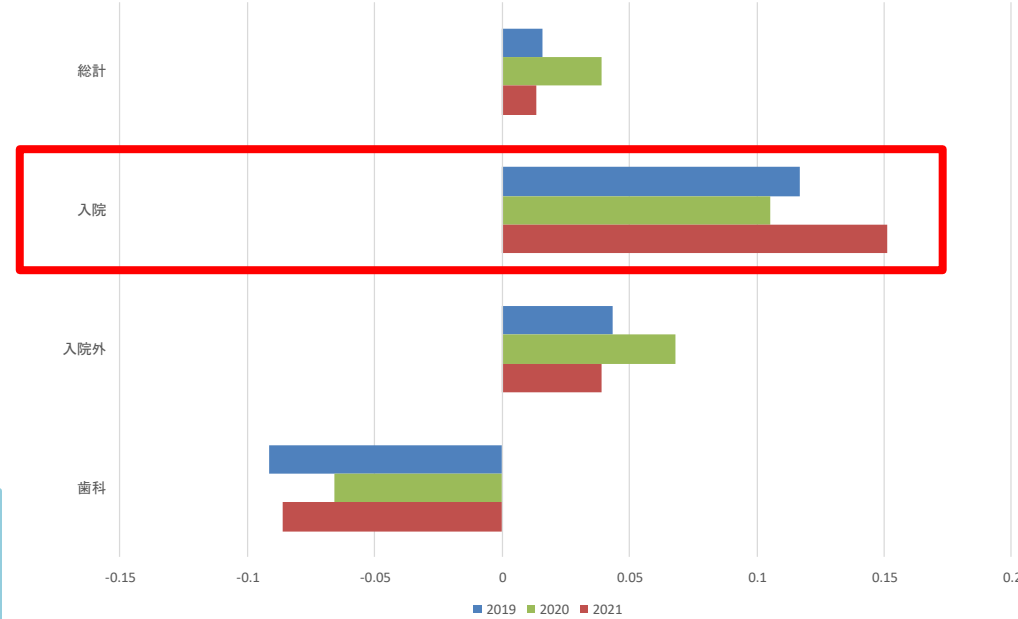
年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後		
2019	18,442.4	18,115.1	1,556.2	1,527.8	1.61	7,381.3
2020	19,213.9	18,904.7	1,528.1	1,502.7	1.59	7,897.3
2021	20,076.8	19,735.8	1,598.6	1,568.5	1.54	8,143.9

島根支部の1人当たり医療費は歯科を除いて入院・入院外ともに全国平均と比較して高く、特に入院医療費および入院受診率が高い状況となっている。

1人当たり医療費の地域差指数-1



受診率の地域差指数-1



2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(疾病分類が不明なものを除く。)

赤い箇所は0(全国平均)より高いため、「悪い」状態を意味します

<入院>

年度	I 感染症及び寄生虫症	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2019	0.001	0.036	0.000	0.005	0.012	0.009	0.005	0.001	▲ 0.013	0.003
2020	▲ 0.000	0.057	▲ 0.000	0.003	0.012	0.007	0.007	▲ 0.000	▲ 0.017	0.007
2021	0.002	0.060	0.000	0.004	0.011	0.006	0.007	0.002	▲ 0.001	0.004

年度	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X X 特殊目的コード
2019	0.004	0.001	0.009	0.002	0.014	0.014	0.003	0.002	0.021	▲ 0.000
2020	0.002	0.000	0.016	0.004	0.017	0.005	0.006	0.001	0.012	▲ 0.007
2021	0.002	0.001	0.018	0.006	0.016	0.000	0.005	0.000	0.014	▲ 0.009

<入院外>

年度	I 感染症及び寄生虫症	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2019	▲ 0.002	▲ 0.002	0.004	0.003	0.022	0.004	▲ 0.001	0.001	▲ 0.003	0.000
2020	▲ 0.005	▲ 0.005	0.008	0.004	0.025	0.003	▲ 0.001	0.001	0.000	0.002
2021	▲ 0.004	▲ 0.004	0.008	0.007	0.024	0.003	▲ 0.003	0.001	▲ 0.002	▲ 0.006

年度	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X X 特殊目的コード
2019	▲ 0.002	▲ 0.009	▲ 0.003	▲ 0.004	0.000	0.002	0.000	0.002	▲ 0.002	▲ 0.000
2020	0.000	▲ 0.008	▲ 0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.002	▲ 0.003	▲ 0.003
2021	▲ 0.000	▲ 0.007	▲ 0.003	▲ 0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	▲ 0.002	▲ 0.013

※1 地域差指数は年齢調整後のものである。

※2 疾病が不明のものは掲載していないため、各疾病の地域差指数-1の寄与度の合計は診療種別(入院・入院外)の1人当たり医療費の地域差指数-1に一致しない場合がある。

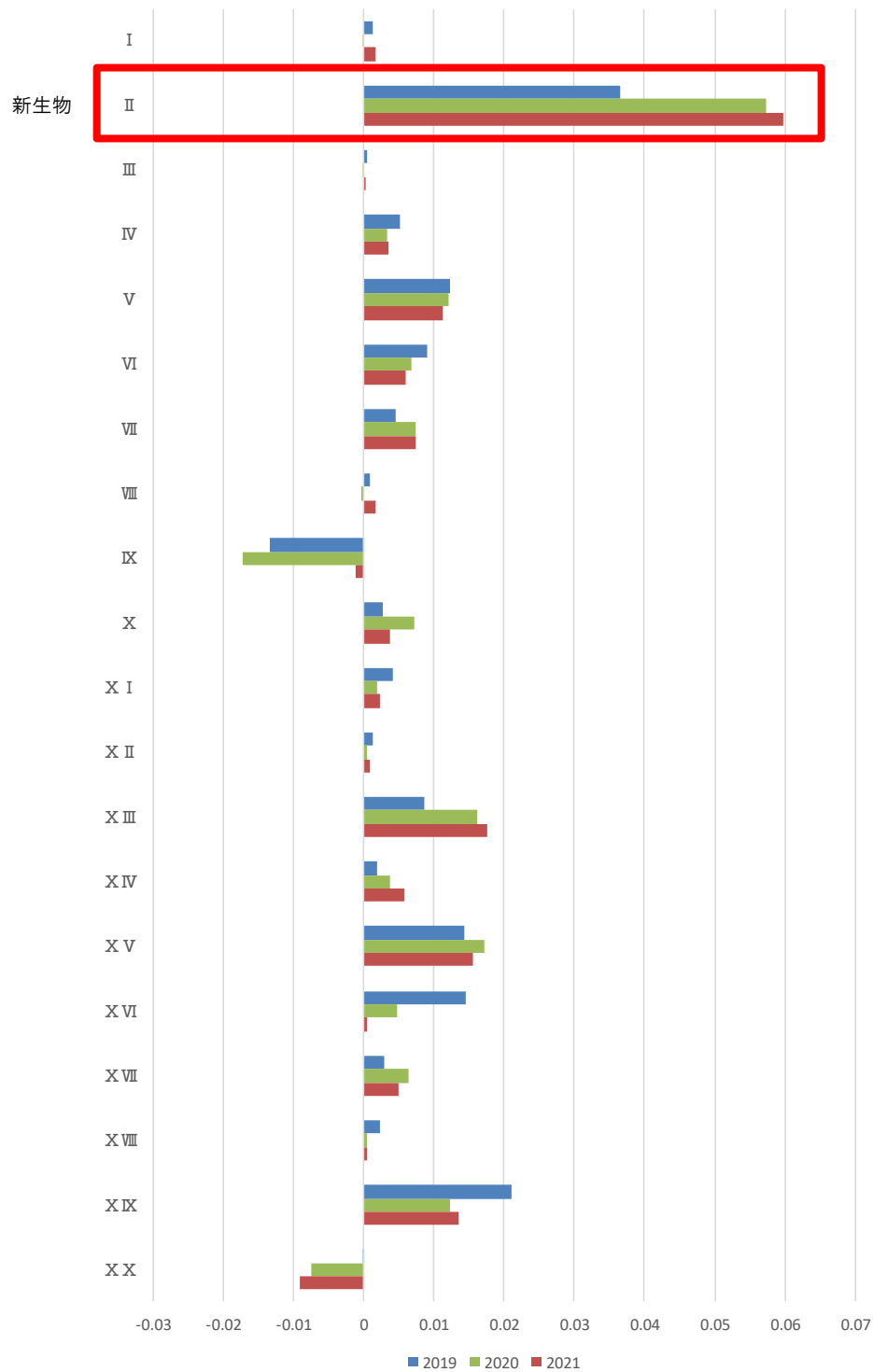
2-3. 診療時間外受診の加入者1人当たり算定回数の地域差指数-1

年度	初診	再診
2019	▲ 0.287	▲ 0.334
2020	▲ 0.251	▲ 0.323
2021	▲ 0.306	▲ 0.371

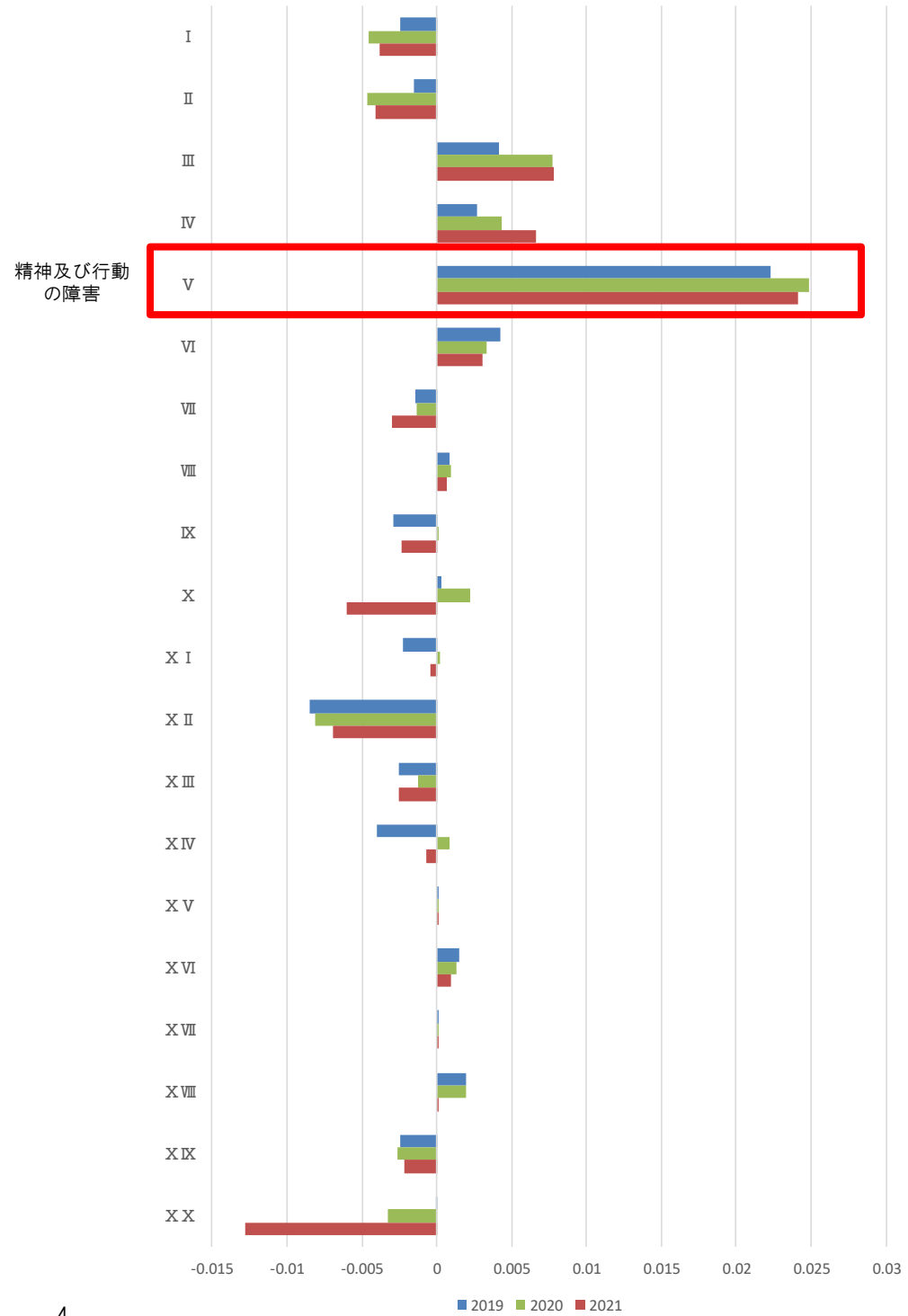
※ 地域差指数は年齢調整後のものである。

島根支部の医療費を疾病分類別に見ると、入院は「新生物」、入院外は「精神及び行動の障害」が全国平均と比較して特に高い状況となっている。

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(入院)



疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(入院外)



3. 健診情報

3-1. 健診受診率等

年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診データ取得率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勧奨後3月以内受診率	コラボヘルス宣言事業所数
2019	63.5%	12.4%	32.7%	37.5%	8.9%	1,096
2020	64.0%	11.5%	31.4%	28.5%	7.9%	1,146
2021	65.7%	11.5%	34.1%	29.9%	7.3%	1,330

※「勧奨後3月以内受診率」の2021年度について、レポートによる受診状況が確認できる2021年7月健診受診分(2022年1月発送分)までを集計対象としている。

3-2. 健診結果及び問診結果

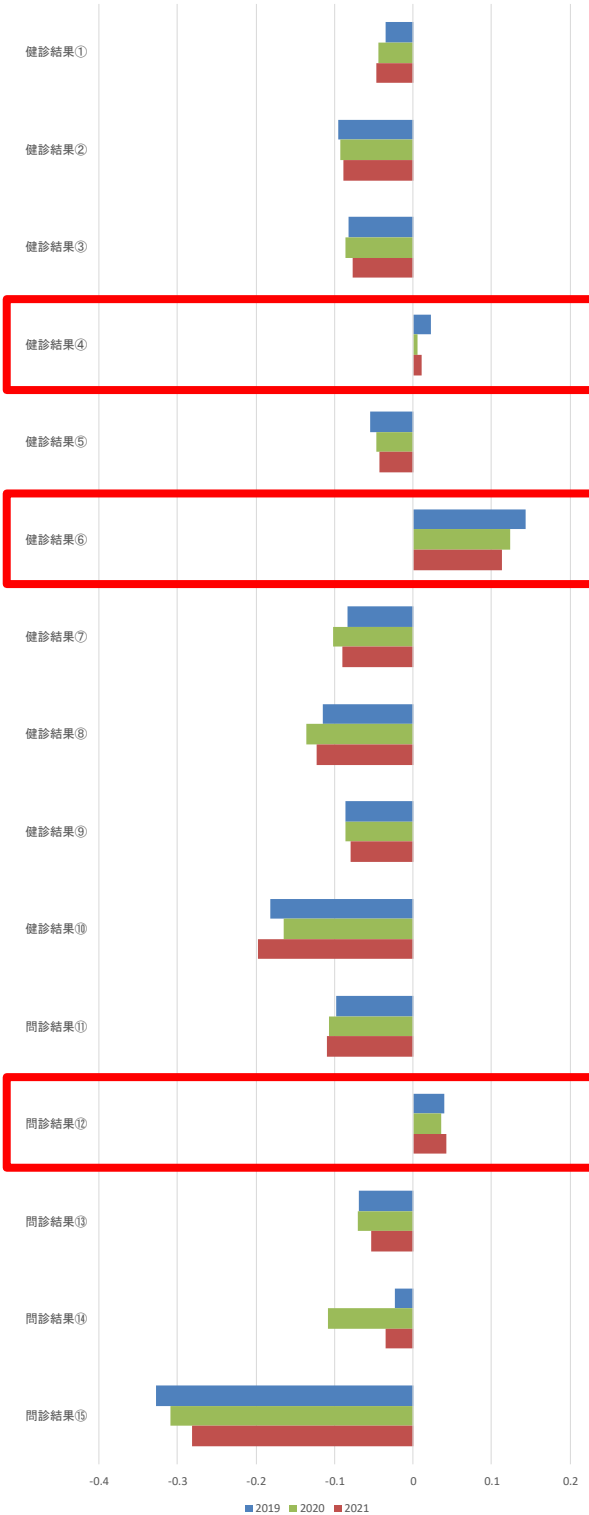
年度	①メタボリックシンドロームのリスク保有率		②メタボリックリスク予備群の割合		③腹囲のリスク保有率		④血圧のリスク保有率		⑤脂質のリスク保有率	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	15.0%	▲ 0.035	12.3%	▲ 0.095	33.9%	▲ 0.08	42.9%	0.023	27.2%	▲ 0.054
2020	15.8%	▲ 0.044	12.7%	▲ 0.093	34.8%	▲ 0.08	44.5%	0.006	28.5%	▲ 0.046
2021	15.7%	▲ 0.047	12.6%	▲ 0.088	34.8%	▲ 0.07	44.7%	0.011	28.2%	▲ 0.043

年度	⑥代謝のリスク保有率		⑦喫煙者の割合		⑧BMIのリスク保有率		⑨中性脂肪のリスク保有率		⑩HDLコレステロールのリスク保有率	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	17.2%	0.143	29.8%	▲ 0.083	27.4%	▲ 0.115	19.1%	▲ 0.086	4.3%	▲ 0.181
2020	17.2%	0.124	28.4%	▲ 0.102	27.9%	▲ 0.135	19.8%	▲ 0.086	4.5%	▲ 0.165
2021	17.3%	0.113	28.1%	▲ 0.090	28.2%	▲ 0.123	19.0%	▲ 0.079	4.1%	▲ 0.197

年度	⑪体重10kg以上増加者の割合		⑫運動習慣要改善者の割合		⑬食事習慣要改善者の割合		⑭飲酒習慣要改善者の割合		⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	37.4%	▲ 0.098	72.8%	0.040	50.7%	▲ 0.069	13.7%	▲ 0.023	27.2%	▲ 0.327
2020	37.8%	▲ 0.106	72.2%	0.037	48.7%	▲ 0.070	12.0%	▲ 0.108	25.3%	▲ 0.309
2021	37.8%	▲ 0.109	72.1%	0.042	50.0%	▲ 0.053	12.5%	▲ 0.034	26.5%	▲ 0.281

※1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。
 ※2 地域差指数は年齢調整後のものである。

健診結果及び問診結果の地域差指数-1



島根支部の健診結果は「血圧のリスク保有率（高血圧）」「代謝のリスク保有率（高血糖）」が全国平均と比較して高く、問診結果は「運動習慣要改善者の割合」が全国平均と比較して高い状況となっている。

健診結果及び問診結果の基準

項目	基準
①メタボリックシンドロームのリスク保有率	・③かつ④～⑥のうち2項目以上に該当 ・分母は集計対象データ総数
②メタボリックリスク予備群の割合	・③かつ④～⑥のうち1項目に該当 ・分母は集計対象データ総数
③腹囲のリスク保有率	・内臓脂肪面積が100cm ² 以上 ・内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上 ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数
④血圧のリスク保有率	・収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数
⑤脂質のリスク保有率	・中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数
⑥代謝のリスク保有率	・空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c 6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数
⑦喫煙者の割合	・分子は「現在、たばこを習慣的に吸っている」に「はい」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑧BMIのリスク保有率	・BMI25以上 ・分母はBMIの値のあるデータの総数
⑨中性脂肪のリスク保有率	・中性脂肪150mg/dl以上 ・分母は中性脂肪の検査値のあるデータの総数

項目	基準
⑩HDLコレステロールのリスク保有率	・HDLコレステロール40mg/dl未満 ・分母はHDLコレステロールの検査値のあるデータの総数
⑪体重10kg以上増加者の割合	・分子は「20歳の時の体重から10kg以上増加している」に「はい」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑫運動習慣要改善者の割合	・分子は「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している」、「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」、「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」に2問以上「いいえ」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑬食事習慣要改善者の割合	・分子は「人と比較して食べる速度が速い」に「速い」と回答、「就寝前の2時間以内に夕食をとること1が週に3回以上ある」に「はい」と回答、「朝食を抜くことが週に3回以上ある」に「はい」と回答、「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある」に「はい」と回答、これらのうち2項目以上に該当する者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑭飲酒習慣要改善者の割合	・「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」に「毎日」と回答し、かつ「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に「2～3号未満」「3号以上」と回答、もしくは「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」に「時々」と回答し、かつ「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に「3合以上」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	・分子は「睡眠で休養が十分とれている」に「いいえ」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数

2. 令和3年度 島根支部事業計画 KPI一覧表

青字：達成
赤字：未達成

1. 基盤的保険者機能関係

令和3年度 島根支部事業計画【KPI】	令和3年度実績
<p>(2) サービス水準の向上 【KPI】</p> <p>① サービススタンダードの達成状況を<u>100%</u>とする ② 現金給付等の各種申請書に係る郵送化率を<u>95%以上</u>とする</p>	<p>① 100% ② 93.1%</p>
<p>(5) 効果的なレセプト点検の推進 【KPI】</p> <p>① 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について <u>対前年度(0.300%)以上</u>とする (※) 査定率=レセプト点検により査定(減額)した額÷協会けんぽの医療費総額 ② 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を <u>対前年度(3,373円)以上</u>とする【新規】</p>	<p>① 0.365% ② 5,410円</p>
<p>(6) 柔道整復施術療養費の照会業務の強化 【KPI】柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合について <u>対前年度(0.58%)以下</u>とする</p>	<p>0.37%</p>
<p>(8) 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進 【KPI】</p> <p>① 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を <u>対前年度(93.28%)以上</u>とする ② 返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率を <u>対前年度(73.68%)以上</u>とする</p>	<p>① 93.44% ② 69.54%</p>
<p>(9) 被扶養者資格の再確認の徹底 【KPI】被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を <u>96.4%以上</u>とする</p>	<p>95.3%</p>

2. 戦略的保険者機能関係

令和3年度 島根支部事業計画【KPI】	令和3年度実績
(1) i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上 【KPI】 ① 生活習慣病予防健診受診率を <u>65.6%以上</u> とする ② 事業者健診データ取得率を <u>16.5%以上</u> とする ③ 被扶養者の特定健診受診率を <u>34.0%以上</u> とする	①65.7% ②11.5% ③34.1%
(1) ii) 特定保健指導の実施率の向上 【KPI】 ①被保険者の特定保健指導の実施率を <u>31.9%以上</u> とする ②被扶養者の特定保健指導の実施率を <u>13.1%以上</u> とする	①23.0% ②40.4%
(1) iii) 重症化予防対策の推進 【KPI】受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を <u>12.9%以上</u> とする	7.9%
(1) iv) 健康経営（コラボヘルスの推進） 【KPI】健康宣言事業所数を <u>1,350事業所以上</u> とする【新規】	1,336
(2) 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進 【KPI】全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を <u>70.0%以上</u> とする	64.3%
(3) ジェネリック医薬品の使用促進 【KPI】島根支部のジェネリック医薬品使用割合を対前年度（83.4%） <u>以上</u> とする	83.2%
(5) 医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信 【KPI】効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する	実施なし

3. 組織・運営体制関係

令和3年度 島根支部事業計画【KPI】	令和3年度実績
Ⅲ) その他の取組（費用対効果を踏まえたコスト削減等） 【KPI】一般競争入札に占める一者応札案件の割合について20%以下とする （ただし、入札件数の見込み件数が4件以下の場合は一者応札件数を1件以下とする）	17.0%